

平成24年度 伊江家 家計簿（住民一人当たり財務書類4表）

伊江村財務書類4表を村民一人当たり換算すると次のようになります。

千円単位、百円単位で適宜、四捨五入を行ったため、合計値等は整合しないところがあります。

(単位:円)

I. 貸借対照表(BS)

借方科目	期末	貸方科目	期末
資産合計	5,470,000	負債・純資産合計	5,470,000
1. 金融資産	1,011,000	負債合計	860,000
現金	88,000	1. 流動負債	80,000
債権	126,000	まだ払っていない費用	0
まだ入ってきていない収入	126,000	夏のお小遣い引当金	8,800
友人への貸付金	0	ローン残高(翌年返済)	64,000
その他	100	長男の借入金(翌年返済)	0
貸付リスク	▲200	その他	7,700
株式	15,000		
投資等	782,000		
友人への出資	15,000		
貯金・定期預金	765,000		
その他	1,700		
2. 非金融資産	4,459,000	2. 非流動負債	779,000
個人所有	2,761,000	ローン残高	688,000
土地	112,000	長男の借入金	0
家	2,061,000	退職給付引当金	87,000
車など	588,000	その他	3,800
区分所有マンション	1,698,000		
区分所有土地	9,000		
区分所有施設	1,689,000	純資産合計	4,610,000
その他	0		
	0		

II. 行政コスト計算書(PL)

借方科目	費用	貸方科目	収益
日常生活コスト	▲723,000		
日常費用合計	814,000	日常収益合計	91,000
1. 家内費用	625,000	1. 家内収益	91,000
①人件費	218,000	①パート収入	69,000
夏のお小遣いの備え	8,800	②臨時収入	23,000
退職給付費用	0		
お手伝いさん費用	210,000		
②物件費	239,000		
食費、光熱水費	61,000		
家の修理	92,000		
家の経年劣化分	81,000		
その他	3,800		
③経費	158,000		
貸付リスク	400		
諸経費	157,000		
④業務関連費用	10,000		
ローン利息	10,000		
その他	200		
2. 仕送り	190,000		
①長男への仕送り	35,000		
②親戚への仕送り	99,000		
③両親の医療費	54,000		
④その他	1,700		

村民一人当たりの資産は547万円です。負債は86万円で、純資産は461万円です。

家計で考えた場合、預貯金や株式などの金融資産が101万1千円、土地・建物・車などの非金融資産が445万9千円で、計547万円の資産を持っています。

ローン残高は75万2千円でその他債務を差し引いた財産(純資産)は461万円となります。

日常生活を営むのに72万3千円のコストがかかります。

その内訳はお手伝いさん費用21万円、食費、光熱水費6万1千円、家の修理9万2千円、諸経費15万7千円、仕送り19万円等となっています。

支払の無い費用で、夏のお小遣いの備え9千円、家の経年劣化分(減価償却費)8万1千円、貸付リスク400円等も見込みます。

パート収入・臨時収入は合わせて9万1千円でした。

IV. 資金収支計算書(CF)

借方科目	収入	貸方科目	支出
翌年度へ持ち越す現金			88,000
前年度までの現金	100,000		
1年間の収支			12,000
(もし借金をしないと= I + II)	▲64,000		
I. 日常生活にかかる収支		収入-支出= 476,000	
2. 日常生活の定期的な収入	1,186,000	1. 日常生活の経常経費	710,000
①給料	103,000	①食費、衣料、家賃、光熱水費	520,000
②ボーナス	0	②長男への仕送り、両親の医療費	190,000
③パート収入	83,000		
④年金収入等	1,001,000		
II. 家や車にかかる収支		収入-支出= ▲540,000	
2. 家や車に関する収入	85,000	1. 家や車にかかる支出	625,000
①中古車の売却	0	①リフォームや新車の購入	525,000
②貯金の取崩し	85,000	②貯金の積立て	100,000
③その他	0	③その他	0
III. 家や車のローンにかかる収支		収入-支出= 52,000	
2. ローンに関する収入	204,000	1. ローンにかかる支出	152,000
①銀行からの借入れ	114,000	①利息の支払い	10,000
②長男の借入れ	0	②ローンの返済	142,000
③その他借入れ	90,000		

8万8千円あった現金をやりくりし、年度末に10万円となりました。

日常生活では47万6千円の黒字、新車購入等で54万円の赤字、ローンの借入20万円、返済15万円です。

III. 純資産変動計算書(NWM)

借方科目	減少	貸方科目	増加
前期末残高	4,001,000		
当期変動額合計		増加-減少=575,000	
I. おかねの変動			
1. おかねを使う(減少)	1,451,000	2. おかねを手に入れる(増加)	1,409,000
①日常生活コスト	723,000	①本業の給料	103,000
②新車購入	525,000	②長男の給料	0
③貯金	100,000	③年金収入等	1,036,000
④その他	103,000	④その他	269,000
II. 家や車の変動			
1. 家や車の変動(減少)	185,000	1. 家や車の変動(増加)	803,000
家・車の経年劣化分	185,000	新車取得	525,000
廃棄・売却	0	プレゼント受け取り	278,000
2. 貯金の減少	85,000	2. 貯金の増加	118,000
3. 価格変動	0	3. 価格変動	0
III. その他の変動			

本業の給料は10万円で、家計は年金収入等100万円に頼っています。

日常生活コストに72万3千円がかかります。

新車購入や貯金はおかねと他資産の交換と考えるため、純資産総額には影響ありません。

57万5千円の純資産増加となりました。

